学校番号	２１０２

令和３年度福祉科

教科	福祉科	科目	介護福祉基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	介護福祉基礎（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では、介護の理念や介護を必要とする人の理解、介護の仕事に携わる人、介護サービスのいろいろや介護保険制度、介護現場などでの安全確保といった内容について学びます。本校では実際に介護職に就く人は少ないので「介護における安全確保と危機管理」に充てる時間数は少ないです。介護の仕事につく人々がどのような思いで、どのような仕事をしているかを知ることが、この科目では特に大切です。また、介護を必要とする人々を支える技術を実習を通して学びます。

２　学習の到達目標

介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解し、介護を適切に行う態度と能力を自ら育くむ。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	高齢者や障がい者の身体状況や生活上の課題を積極的に理解しようとする。自分の周囲の介護を必要とする人にたいして、適切な介護サービスを示すことができる。	どのような高齢者にどのような介護サービスが必要かを考え、判断できる。高齢者や障がい者のそれぞれの特性に応じて、どのような支援が必要か、またどのような社会資源を活用すればよいかを考えることができる	点字や手話の初歩的な内容、車いすの操作方法などを理解し、身につけている。介護保険サービスを利用しようとする人に、利用の手順などを教示することができる。	介護の諸理念を具体的に理解している。介護保険のしくみや様々な介護サービスについてその内容を理解している。介護従事者の処遇の現状について理解している。
評価方法	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方)・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方)・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方)・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート	授業への出席状況、学習状況の観察(特に実習への取り組み方)・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期・後期共通	介護の意義と役割	・尊厳を支える介護 ・自立に向けた介護	○	○	○	○	a:自立の概念と自立を支える介護の意義や役割について、ノーマライゼーションの概念や、高齢者や障がい者の自己決定や個別化など自立に向けた介護について理解し、日常生活の中でも、その理解を活かしていこうとする。 b:日常生活の中での高齢者や障がい者との関わり方が、ノーマライゼーションの概念や、高齢者や障がい者の自己決定や個別化の理念に照らして適当かどうか、自ら判断することができる。 c: ＱＯＬやノーマライゼーションのいった福祉理念の向上や実現に向けて、ボランティア活動などに参加する。 d:介護におけるサービス利用者主体の考え方やＱＯＬなど、介護の意義や目的、役割について考えるとともに、人間としての尊厳を保持するための介護の在り方・必要性・課題について理解している。	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方）・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート
	介護福祉の担い手	・介護従事者を取り巻く状況 ・介護従事者の役割 ・介護従事者の倫理・ ・介護における連携	○ ○			○ ○ ○ ○	a: 介護を取り巻く社会的現状や変化について関心をもち、国民の求める多様な介護ニーズに対応した介護従事者のあり方やその処遇の改善などに関心を向けている。 b: これからますます進展する高齢化社会における介護従事者の在り方、また不足する介護従事者の供給源などについて、自分なりの考え方をもっている。 c:介護従事者の役割や現状を学ぶなかで、介護の仕事への関心を高め、介護職員初任者研修や移動支援従業者などの資格取得を試みる。 d: a の内容に加え介護従事者としての責任と任務、専門性と基本姿勢、介護従事者として必要な倫理など幅広い事項に知識と理解をもっている。	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方）・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート

	介護を必要とする人の理解と介護	・介護を必要とする人と生活環境 ・高齢者の生活と介護 ・障害者の生活と介護 ・介護福祉サービスの概要	 ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○	a: 高齢者の生活に関する課題やニーズ、また障害の概念や障害によって生じる生活に関する課題やニーズなどに関心をもち、日常生活でもそれらをふまえた高齢者や障害者への関わりをもとうとする。 b: 高齢者や障害者の特性や課題を理解し、日常生活の中で生じる様々な課題に対して、自分なりの判断ができる。 c: 介護保険制度などのしくみやさまざまな介護福祉サービスについて、具体的な内容や利用方法について理解している。その理解をふまえて実際に介護保険制度やサービスを利用しようとしている高齢者やその家族にアドバイスすることができる。また車いす操作や点字、手話などの基礎を身につけている。 d: 高齢者や障害者の特性や課題・介護保険制度のしくみ、介護福祉サービスの具体的な内容や利用方法等について幅広い知識を身につけている。	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方）・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート
	介護における安全確保と危機管理	・介護における安全確保と事故対策 ・感染対策 ・介護従事者の健康管理				○ ○ ○	a:日常の報道などで伝えられる介護現場での事故の実例などに関心をもつ。 b:介護現場での事故の予防法や感染症対策についてどのようなことが必要か、自分で考えることができる。 c: 自ら日常の健康管理に努め、感染症の予防対策などを講じるようにしている。 d: 転倒・転落防止、骨折予防、防災対策など具体的な対策や組織的な対応や介護現場での感染症の実態、感染予防の意義・必要性を理解している。	授業への出席状況、学習状況の観察（特に実習への取り組み方）・ワークシートや振り返りシートの記述・レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。